



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
と
学
生
ツムぐ

第29号

2017年8月8日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.8

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

8 / 8 午後 初めての「わくわく数学」

新たな一歩



8月8日午後。初めての「わくわく数学」が行われました。東浦中学校の小堂司先生の話のあと、早速学習が始まりました。小学生相手とはちょっと違った雰囲気でした。

SPさんたちはその雰囲気をすぐ感じ取り、「上手な距離感」で、中学生に対応していました。中学になると特に個人差が広がってしまいます。普段の授業では理解出来ない、でも質問できない、そんな状況になります。でも「わく数」なら、気軽に質問できます。分からないところが聞けます。1学期つまづいたところがカバーできます。中学生の表情がどんどんよくなっていくのが、よく分かりました。SPさんも、小学生への対応とはギアを入れ替え、「待つことも大切な支援」と心得、解いている間、考えている間はじっくり待ってくれました。

黙って考える時間も、実はすごく大事なんですね。

あっという間の1時間半。短くらいでした。心の中を、満足感でいっぱいにして、中学生たちは笑顔で帰って行きました。SPさん、個への支援、ありがとうございました。

東浦中学校竹内稔博先生作成の「わくわく算数・数学教室通信第8号」を「ツムぐ学生」用に改編しました。